

令和6年度（2024年度）第1回東海市幼児教育研究協議会会議録

1 会議名 令和6年度（2024年度）第1回東海市幼児教育研究協議会

2 議題

(1) あいさつ

(2) 各委員紹介

(3) 正副会長選出

(4) 報告事項

令和6年度（2024年度）事業計画について

(5) 協議事項

相互体験交流・授業参観について

(6) その他

3 開催日時 令和6年（2024年）4月23日（火）

15：00から16：30まで

4 開催場所 東海市役所 501会議室（5階）

5 出席者氏名

幼児教育研究協議委員13名

学校教育課指導主事 (会長) 加藤 雅尚

養父保育園長 (副会長) 平松 好美

元東海市立保育園長 大野久美子

雨尾幼稚園長 荒川 信光

富木島保育園 主任保育士 本山恵巳子

一番畑保育園 主任保育士 柳澤 純子

三ツ池保育園 主任保育士 山田真由子

横須賀小学校長 荒川 映

三ツ池小学校教務主任 牧野 彰人

明倫小学校 校務主任

小島 悠揮

主任児童委員

早川あかね

事務局

幼児保育課長

小島 英泰

幼児保育課 指導保育士

川口 満子

幼児保育課 主任保育士

久野えり子

幼児保育課

加藤 郁子

6 欠席者氏名

雨尾稚園主任教諭

稲田 由美

木庭保育園長

田中 薫

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0人

9 発言の内容

(1) あいさつ

市民福祉部長 植松 幹景

本日は御多忙の中、御出席いただきありがとうございました。今年度の4月東海市は市政55周年を迎え、記念式典を計画しています。

幼児教育研究協議会はS49年に設置され、様々な事業を展開し意見交換し、親交を深めてきました。

今後10年を見通して第7次東海市総合計画を策定しました。子育てを1つテーマとして、独立して掲げています。市内の5歳児は927名です。その子たちが、戸惑うことなく成長してほしいと願っています。今後も幼稚園・保育園・小学校の連携が図れるように、皆様のご協力をお願いします。

(2) 各委員紹介（自己紹介）

東海市幼児教育研究協議会委員 11名

事務局 4名

(3) 正副会長選出

会長 学校教育課指導主事 加藤 雅尚

副会長 養父 保育園長 平松 好美

(4) 会長あいさつ

昨年度まで学校にいましたが、今年度異動となり、今の立場となりました。子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。子どもを真ん中にして考えていくことが大切であり、そのためにもこの会は必要であると考えます。教育の環境も大きく変化しています。各機関の先生が情報交換すると、子どもの見方が変わってくることもあります。お互いの学びの違いを知り、スムーズな関係を築いていただき、東海市の未来の担い手となる子どもたちのために、ご協力をお願いします。

(5) 報告事項

令和6年度（2024年度）事業計画について 別紙2参照

- ・ 第2回協議会を12月に予定している。同日協議会後に小学校・幼稚園・保育園・認定こども園の職員と小学校教諭の合同研修会を予定している。講師の推薦があればお願いします。
- ・ 授業参観には委員の皆様にもぜひ参加していただき、ご意見を願いたい。
- ・ 保育参観及び研究協議は4保育園で実施します。昨年度は、子どもの姿から、育ちつつある「資質・能力」を共通理解した。就学を間近に控えたこの時期の園児の姿を参観していただき、研究協議に参加していただくことは大変有意義であると考えます。日程が決まりましたらご案内します。
- ・ 保育参観の実施園は、渡内保育園、富木島保育園、横須賀保育園、三ツ池保育園です。後日ご案内を差し上げます。

- ・ 小学校教諭と保育園保育士・幼稚園教諭・認定こども園保育教諭の相互体験交流について、それぞれが生活を体験して子ども理解をし、それぞれの学習方法を知ることが目的とする。
- ・ 幼稚園児・保育園児・こども園児との交流は、幼稚園3園、認定こども園2園と保育園5園とで実施する予定である。
- ・ 公開保育について、東海めぐみ幼稚園は10月31日（木）、大田保育園は10月24日（木）、大堀保育園は8月1日（木）です。小学校の先生にも大勢参加していただきたい。
- ・ 研究紀要43号の担当は公開保育実施園の3園となる。
- ・ 広報紙「かきつばた」については、年6回の発行を予定し、協議会内容や各事業を報告する。

(6) 協議事項

① 授業参観・協議会及び事業について

事務局：授業参観後の協議会の司会・進行は事務局が担当し、教務の先生には意見を引き出していただくようお願いする。参観の視点は「幼児期において“自発的な活動の遊び”を通して育まれたことが、学習に円滑に接続されるために」と示させていただく予定です。「自発的な活動の遊びが、学習に円滑に接続される」ことを念頭に置き、今後どのようにしていくとよいのか話し合っていきたい。

<意見>

- ・ 授業参観がまもなく始まるが、その際の資料の見直が必要ではないか？
小学校によって内容に差が生じていると感じる。

⇒ 授業参観及び協議の場は、幼稚園・保育園の学びの場でもある。幼児期に経験してきたことが、小学校のどんな場につながっていくのかを資料と授業参観の両方で確認している。そのため、授業のねらいと内容、先生の指導のポイントは簡単でよいので表記されているとありがたい。授業を見るだけでは理解しにくいと思う。

⇒ 昨年度の資料を見ると、学校によって差がある。簡単な様式もあれば、細かい指導まで書かれているものもある。事業計画には「授業参観用の資料として教科・単元・目標・内容のわかるもの」と記しており、担当者会でもその様にお願いした。

⇒ 学校により取り方に違いがある印象がある。

⇒ 何かをベースとしてお知らせすることができればわかりやすいかもしれない。

⇒ 各小学校の負担が多くならないように検討する。

(7) その他

令和5年度研究紀要No.4 2が完成しました。委員さんには本日お手元にお配りしました。各機関にもお配りしました。ご高覧いただきたい。

<委員の意見>

- ・この会が長年続いていることはうれしい。東海市の子どもたちは大切にされているし、これからも大切にされていくと思う。
- ・全国的に少子高齢化となっている。子どもは東海市の宝である。大切な子どもを預かる者として、役割の重さを痛感している。
- ・子どもが安心して小学校に進学できるように、この会で学んだことを園で発信していきたい。
- ・いろいろな学校で授業を見学して、保育園の保育と通ずるものがあり、保育・教育がつながっていることを実感した。いろいろな話し合いができたので、それを子どもに返していくことが大切だと思う。
- ・コロナ禍でいろいろなことを考えた。大切なことや必要なことは残し、見直すべきことは見直し、スリムで効率的にすることも大切であると考えます。
- ・子どものことが好きで委員を引き受けた。保育や教育のことはよくわからないが、母親の立場で参加させていただきたい。
- ・学校の事情で積極的に事業に参加できなかったが、大事なことは、相互の

立場の人が現場を見あうことだと思う。

- ・昨年度、いろいろな事業に参加させていただき、小学校に上がる前に子どもたちがどんなことを学んでくるのか知ることができた。

(8) 閉会

いろいろご協議いただきありがとうございました。この一年、幼児教育研究協議会の各事業に対して、格別のご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

以上

記録作成者

幼児保育課

加藤 郁子

議事録確認委員

会 長

加藤 雅尚